
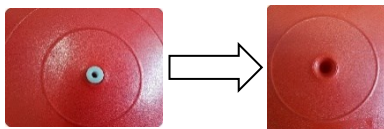


## 空気の注入方法

- ◎ 栓の種類・付属品はボールの種類により異なりますが、多くの場合、  この栓を使用します。栓は2本（1本は予備）入っており、そのうち1本はゴムニクボール本体についていた状態です。

1. 栓を本体から抜きます。



《栓が抜けにくい場合》


プラグホルダー（別売）



もございます。

2. 本体に空気を入れます。

1) ハンドポンプ（別売）をお持ちの場合

付属のジョイント  は不要です。そのままハンドポンプを空気穴に差し込み、空気を注入してください。弊社取扱い製品の[ハンドポンプ](#)は、押しても引いても空気が入るダブルアクション仕様なので、スムーズに空気を注入することができます。



2) ねじ切りのついた空気入れ（自転車の空気入れ等）をお持ちの場合

付属のジョイント  を使って空気を注入できます。

- ・ 空気入れの先端部分を外します。（画像①②）※空気入れの種類によって違いあり
- ・ ジョイントのねじ切り部分を空気入れに取り付けます。（画像③）
- ・ ジョイントを空気穴に差し込み空気を注入してください。（画像④）

画像①



画像②



画像③



画像④



3. 本体に栓をさします。

（空気を注入後、栓を差し込みますが、）ゴムニクボールには空気の逆流防止弁がついていないため、素早く栓をささないと空気が抜けてしまいます。そのため、お使いになりたいサイズよりも少し大きめになるように空気を注入し、空気入れを外す際に一旦利き手とは逆の親指でボールの空気穴を押さえてください。その後、利き手で栓を持ち、空気穴を押さえている親指を離すと同時に素早く栓をさしてください。